

(平成29年6月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全 般	6月の青果物の入荷量は、品目によっては全国的に豊作となり、前年同月比で3%上回った。また、単価は、少雨及び夜間の低温により、小玉や下位等級の比率が高くなり、前年同月比で7%下回った。 7月は、ナスやトマト、キュウリ等の果菜類や西瓜、桃等の果実類の入荷が増え、枝豆や巨峰、いちじく等の入荷が始まる。
野 菜	野菜の入荷量は、少雨及び夜間の低温が影響し、品目により入荷量の大小が生じたものの、全体としては前年同月比で3%上回り、単価は7%下回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で8%上回り、単価は10%下回った。 葉菜類の入荷量は前年同月並みであり、単価は4%下回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で7%上回り、単価は6%下回った。 土物類の入荷量は、少雨の影響でバレイショやタマネギにおいて小玉の比率が高くなったため、前年同月比で5%下回り、単価も21%下回った。
果 実	果実の入荷量は、生育が遅れた品目があったものの、前年同月並みであった。また、単価は、日照不足等の影響により、下位等級の比率が高くなり、単価は前年同月比で5%下回った。 柑橘類の入荷量は、前年同月比で24%上回り、単価は20%下回った。 リンゴ類の入荷量は前年同月比で12%上回り、単価は18%下回った。 イチゴ類の入荷量は前年同月比で19%上回り、単価は前年同月並みであった。 メロン類の入荷量は前年同月比で8%下回り、単価は前年同月並みであった。 スイカ類の入荷量は前年同月比で7%上回り、単価は4%下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長ダイコン	青森を中心に入荷された。太物中心の入荷となり，入荷量は前年同月比で１４％上回り，加工用需要が強かったため，単価も５％上回った。
西洋ニンジン	兵庫，長崎を中心に和歌山県からも入荷された。主力生産地の切り替わりが合わず，入荷量は前年同月比で３％下回った。また，需要が弱かったため，単価も１３％下回った。
【葉菜類】	
ハクサイ	長野を中心に茨城，九州から入荷された。入荷量は前年同月比で１２％下回り，単価は７％上回った。
キャベツ	愛知，茨城を中心に兵庫，九州，長野，群馬，京都，滋賀から入荷された。入荷量は前年同月比で１５％上回り，単価は２３％下回った。
ホウレンソウ	岐阜を中心に茨城，群馬，静岡，長野，京都，滋賀から入荷された。６月中旬までは，干ばつ，低温の影響で入荷量が減少し，単価高で推移したものの，中旬以降は天候に恵まれ入荷量が増加した。６月全体では，入荷量は前年同月比で１４％上回り，単価も７％上回った。
レタス	長野を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は前年同月比で９％下回った。
【果菜類】	
キュウリ	宮崎，高知，滋賀，京都から入荷された。入荷量は前年同月比で２２％上回り，単価は２０％下回った。
ナス	岡山，高知，熊本，福岡，京都から入荷された。入荷量は前年同月比で１６％上回り，単価は１２％下回った。
トマト	熊本，福岡，北海道，京都から入荷された。入荷量は前年同月比で６％上回り，単価は７％下回った。

ピーマン	宮崎，高知から入荷された。入荷量は前年同月比で２８％上回り，単価は１４％下回った。
【土物類】 バレイショ （メーク含む）	長崎，熊本，静岡を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は前年同月比で２６％下回った。
タマネギ	兵庫を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は前年同月比で３２％下回った。
【その他野菜】 青梅	和歌山，福井，奈良を中心に入荷された。入荷量は前年同月並みであり，単価は前年同月比で３２％上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスミカン	和歌山，佐賀，長崎，大分から入荷された。入荷量は前年同月比で１３％下回り，単価は前年同月並みであった。
ふじ （サン含む）	青森から入荷された。入荷量は前年同月比で３４％上回り，単価は２１％下回った。
桜桃	山梨，山形から入荷された。入荷量は前年同月比で２０％下回り，単価１２％上回った。
デラウェア	奈良，大阪から入荷された。入荷量は前年同月比で４％下回り，単価は７％上回った。
アールス	静岡，高知から入荷された。入荷量は前年同月比で６％下回り，単価は１１％上回った。
アンデス	熊本，茨城，山形から入荷された。日照不足及び低温により主産地の切り替わりが合わず，入荷量が前年同月比で３３％下回った。また，同様の理由から小玉の比率が高くなり，単価も１０％下回った。
大玉スイカ	熊本，長崎，鳥取，石川から入荷された。入荷量は前年同月比で６％上回り，単価は４％下回った。